ツールライブラリ 登録と活用方法

(株) セイロジャパン2024年02月

目次

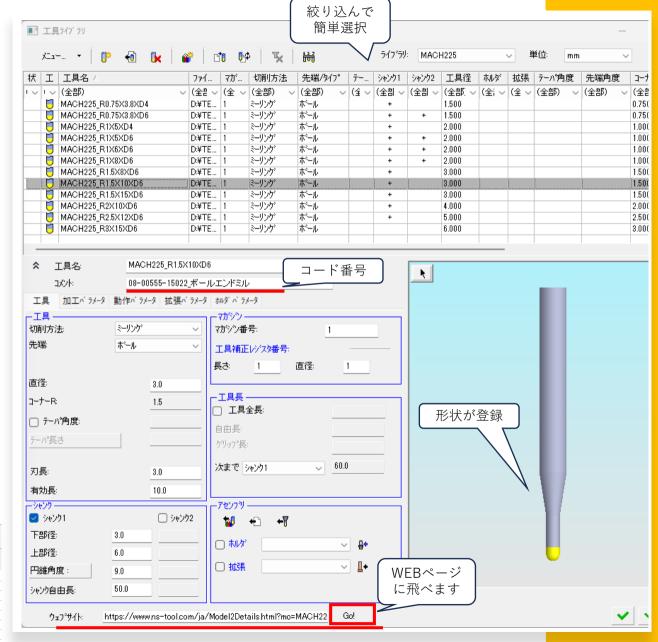
工具ライブラリのメリット	3
• 設定の前準備	4
• ライブラリの作成登録	5
• ライブラリから工具を呼び出し	14
• 切削条件を使用する-方法1	18
• 切削条件を使用する - 方法2	24

注意事項

- これらの工具の工具データベースをダウンロード・インストール・利用した結果生じるいかなる損害についても、当社は責任を負いかねます。
- これらのデータは提供される形状データ、加工条件などの情報 の正確性や完全性を保証するものではありません。ユーザー自 身の責任のもとでの利用をお願いいたします。
- CimatronV16,V2024で使用することができます。

- 工具ライブラリのメリット
 - 形状が登録されていますので、 使用したい工具径から絞り込ん で簡単に使用できます。形状の 数値を入力する手間が省けます。
 - 加工条件が登録されています。 目安として使用することができます。
 - メーカーのコード番号が登録されていますので発注が簡単です。
 - メーカーのwebページをワンク リックで表示させることができ ます。より詳しい情報を簡単に 得られます。(メーカにより登録がない 場合があります。)



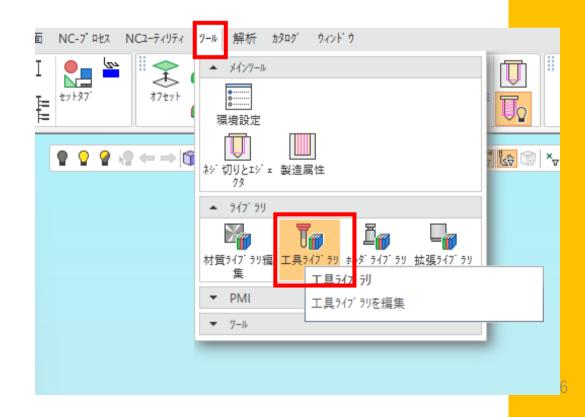


設定の前準備

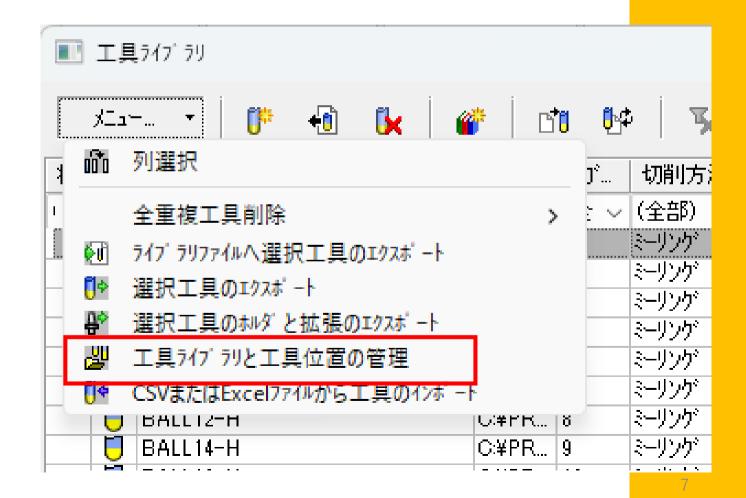
- ①Zipファイルを解凍します。
 - 105個のCHLファイルが解凍されます。
- ②CHLファイルをローカルにコピーします。
 - CHLファイルは登録すると削除や移動ができませんので、適切な場所を選択してコピーしてください。 削除するとそのCHLを使用している工具ライブラリが使用できな
 - 削除するとそのUHLを使用している工具フィノフリか使用できなくなります。
 - 移動させる場合には工具ライブラリの再登録の作業が必要になり ます。
 - 使用しないCHLファイルは削除してかまいません。

ライブラリの作成登録

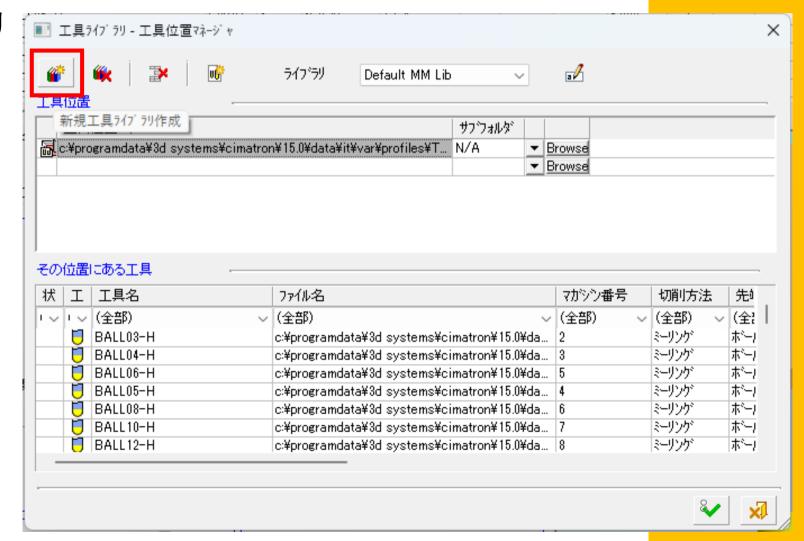
- NCファイルを開きます。 (どんなファイルでもOK)
- ツールから工具ライブラリを選択



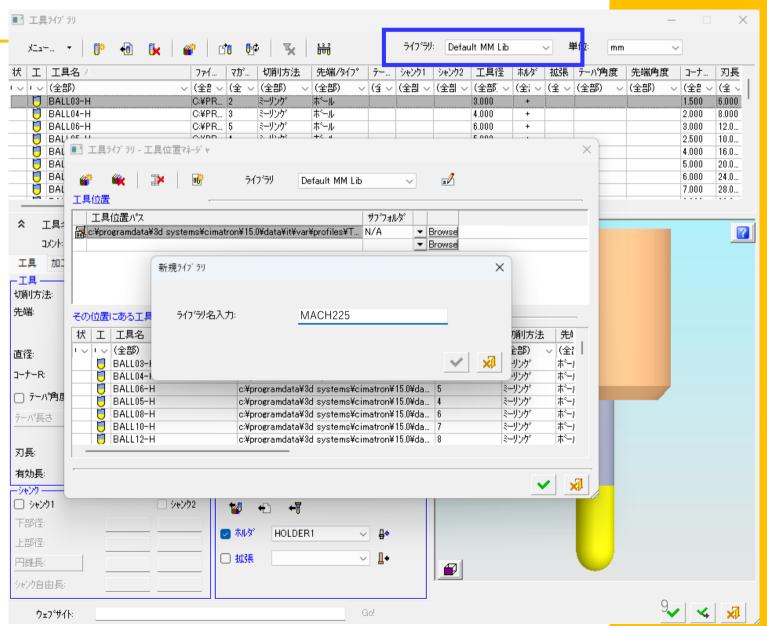
メニューから「工具ライブラリと工具位置の管理」を選択



「新規工具ライブラリ 作成」を選択

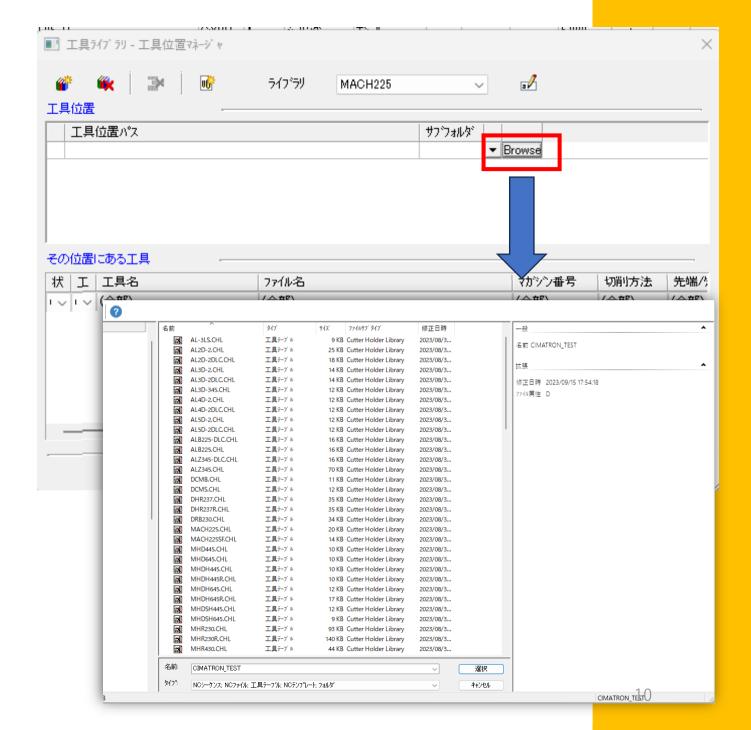


- 作成するライブラリ名 を入力しOKします。
 - シリーズ名などが分かり やすいと思います。
 - この名前は後で変更ができます。
 - 青四角の部分に表示される名称です。

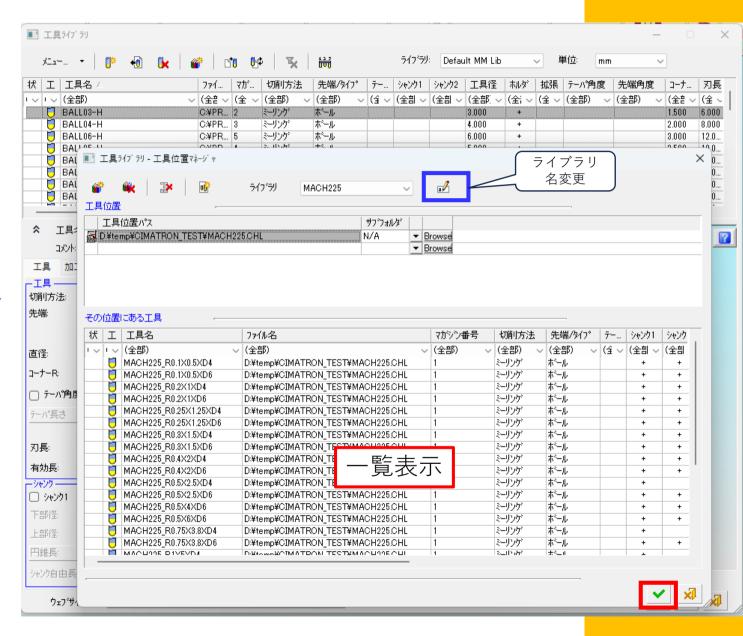


- 「Browse」ボタンを押し登録するCHLファイルを解凍したファイルから選択します。
 - 必要なCHLファイルを選択してください。
 - 同じ操作を繰り返すことで、複数のCHLファイルを一つのライブラリに登録することも可能です。

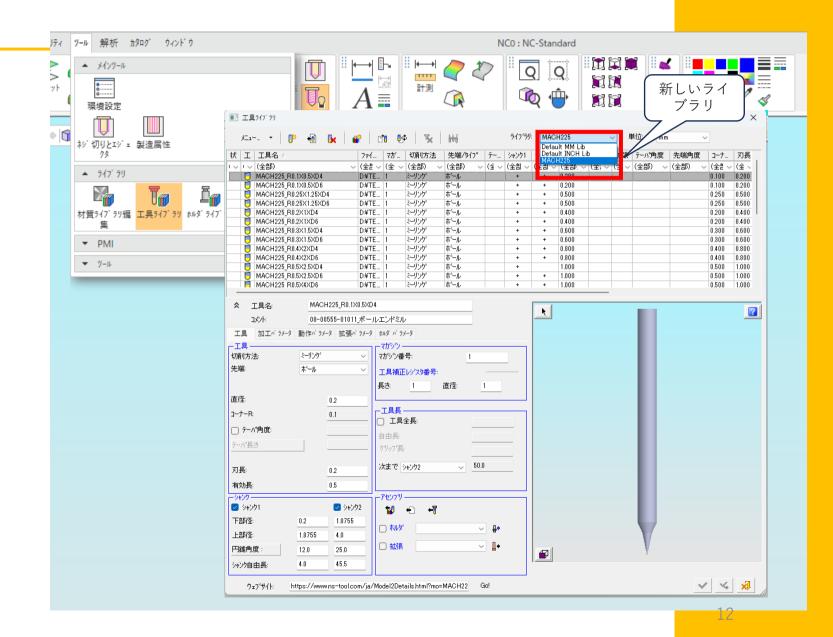
(注:あまり多くのCHLファイルを登録するとライブラリを開くのに時間がかかります)



- CHLファイルが選択されると登録されている工具が一覧表示されます。
- 「OK」ボタンを押せば登 録終了です。
- ライブラリの名前を変更 するには青枠 のボタンを押して名前を変更してください。

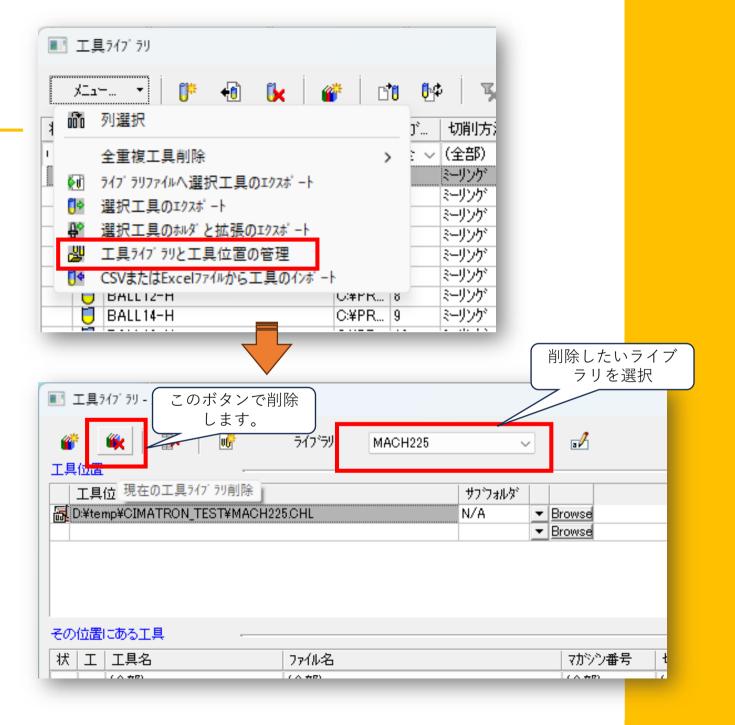


「ツール」>「工具 ライブラリ」を開く と新しいライブラリ があることが確認で きます。



工具ライブラリの削除

- ツールから「工具ライブラリ」を実行
- メニューから「工具 ライブラリと工具位 置の管理」を選択
- 削除したいライブラ リを選択し「現在の 工具ライブラリ削 除」をクリック



工具ライブラリ使用方法

ライブラリから工具を呼び出し

工具軌跡

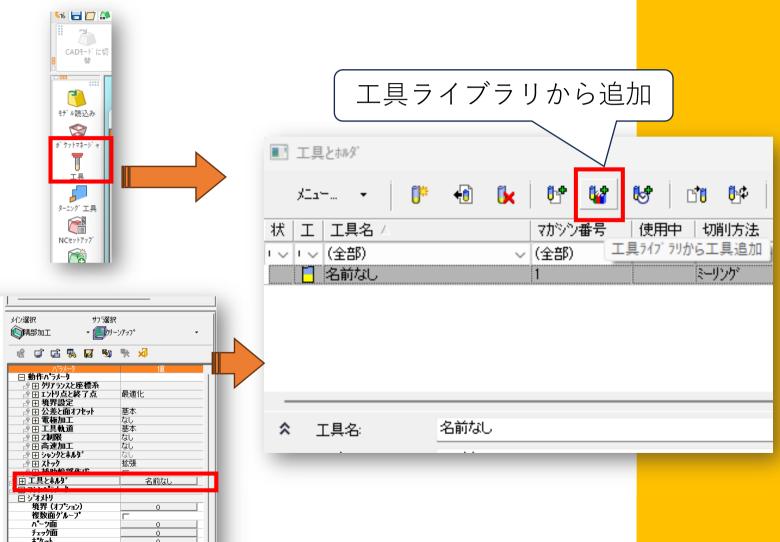
手続き

実行

全体フィルタ

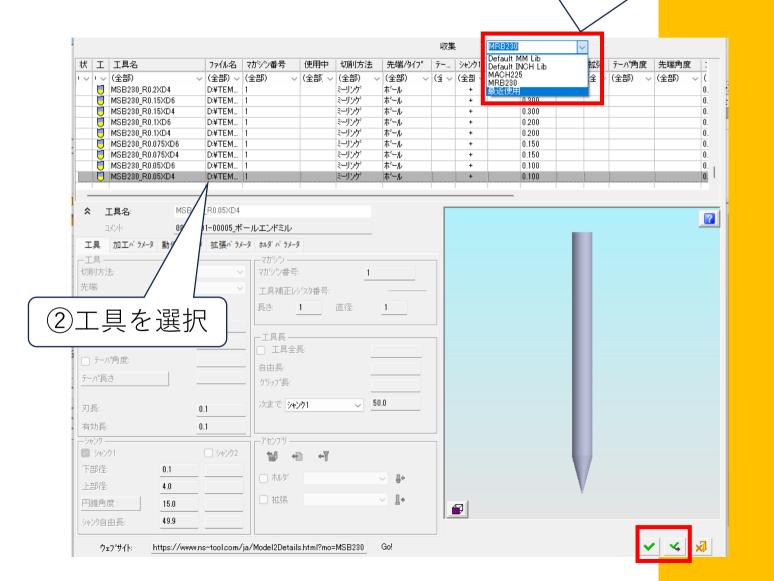
tt 5 -9

工具を追加する場面で 「工具ライブラリから 追加」を選択

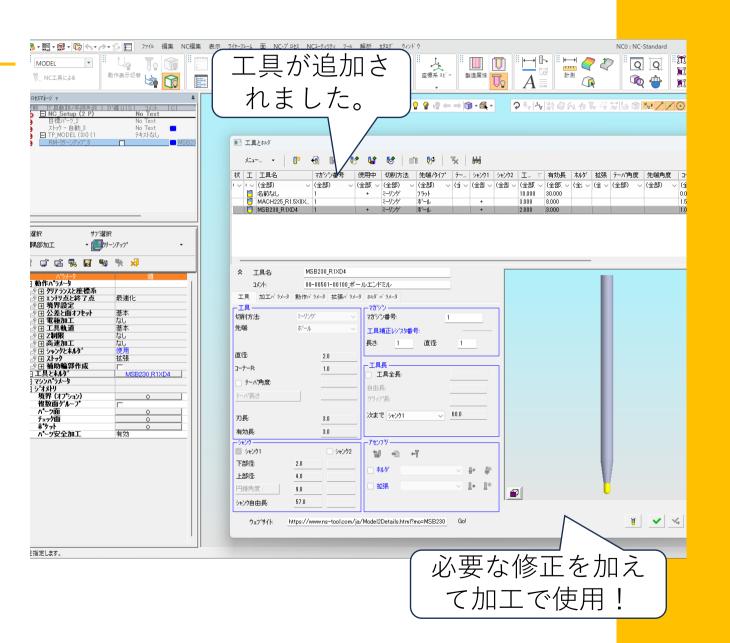


①工具ライブラリを選択

- 適切なライブラリを 選択します。
- 表示された工具の中から必要な工具を選択します。(複数選択可)
- 「OK」を選択し決定 します。



- ライブラリより工具 がコピーされ、加工 に使用することがで きます。
- ホルダーを追加できます。
- 有効長などを変えることも可能です。 (変更はライブラリには影響しません。)

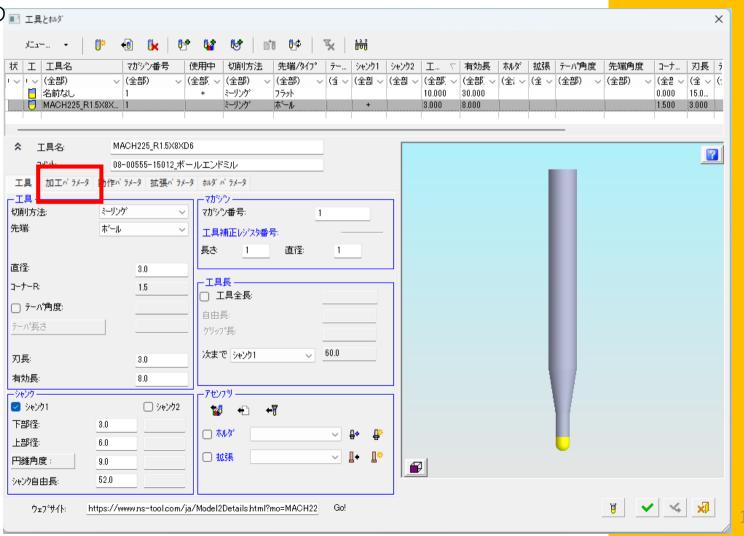


切削条件を使用する

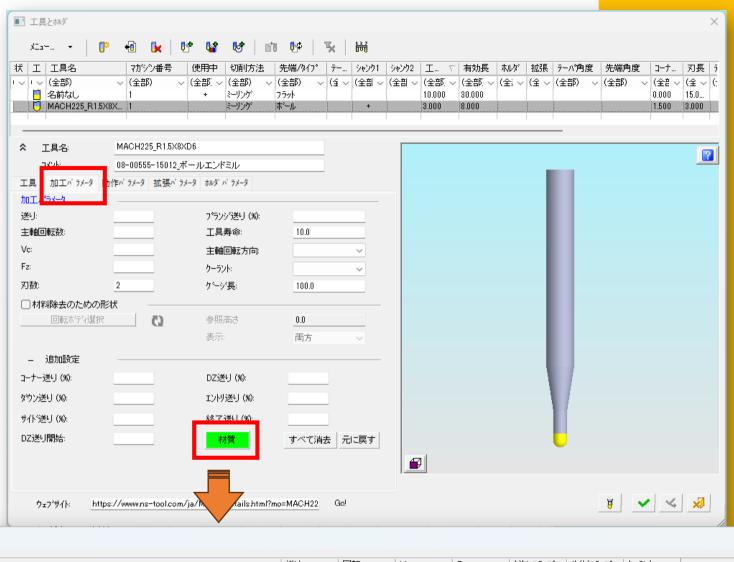
切削条件を使用する-方法1

工具の初期値に数値をコピーする

- 作業しているeltファイルに読み込んだ工具を変更します。
- 手続き設定時などに工 具の設定の画面を開き ます。
- 「加工パラメータ」の タブを選択します。

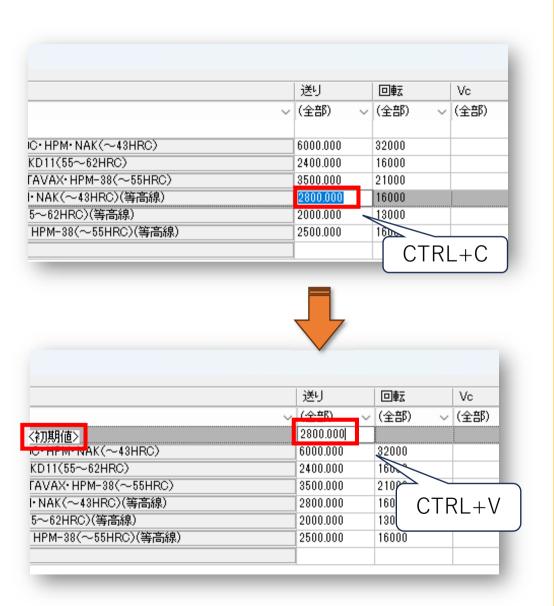


- 「材質」のボタンを 押し、材質ごとの加 工条件を表示させま す。
- 送り、回転数、ダウンステップ、サイドステップの値で必要な数値を初期値の欄にコピーします。



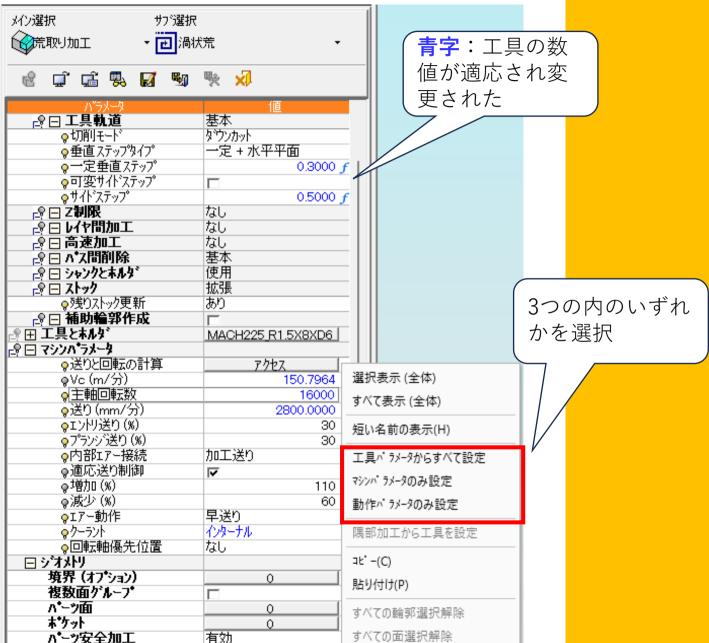


- コピーしたい値をダ ブルクリックして選 択し、初期値にコ ピーします。
- CTRL+C でコピー
- CTRL+V でペースト
- 値のコピーを繰り返します。
- 工具をOK ✓ で保存 します。



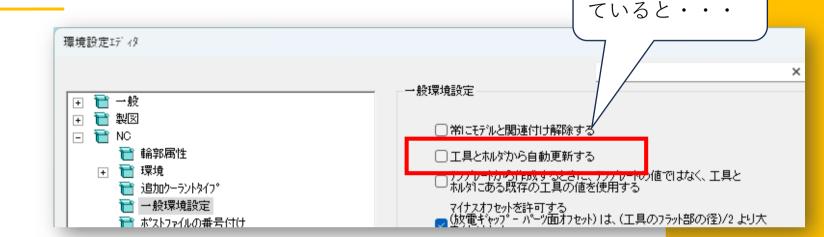
数値の反映

- 手続きの設定パネルで右クリック
- 工具のパラメータを 使用するため、いず れかを選択
 - 工具パラメータからすべて設定:送り、 回転、ステップ値、クーラントなど工 具のマシンパラメータ、動作パラメー タが読み込まれます
 - マシンパラメータのみ設定:送り、回転、クーラントなど工具のマシンパラメータが読み込まれます
 - 動作パラメータのみ設定:サイドステップ、ダウンステップなど工具の動作パラメータが読み込まれます

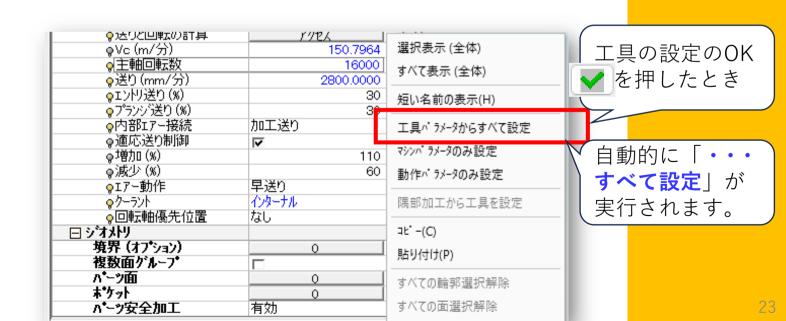


注意点

- 環境設定でNC>ー般環境設定>工具とホルダから自動更新するを確認
 - チェックが入っていれば自動的に工具の動作パラメータ、値シンパラメータの値が読み込まれます。
 - 工具の設定のOK ✓ を押したときに変更 されます。

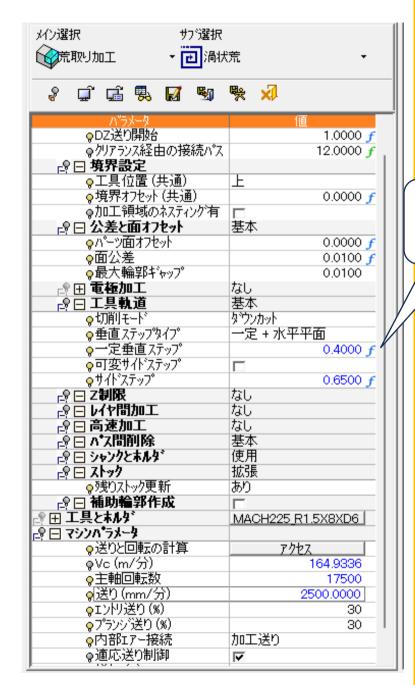


チェックが入っ



パラメータの修正

- ・読み込まれた数値は、 手動で変更可能。
- 再度工具からの読み 込みを実行すると工 具の数値に設定され ます。



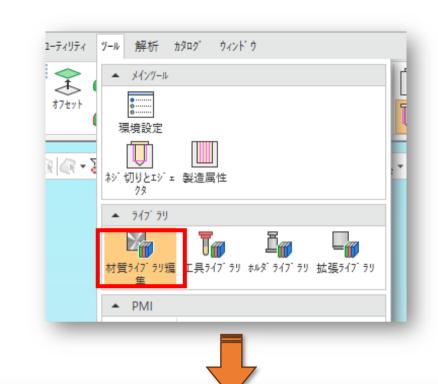
手動で数 値を変更

切削条件を使用する-方法2

材質を合わせる

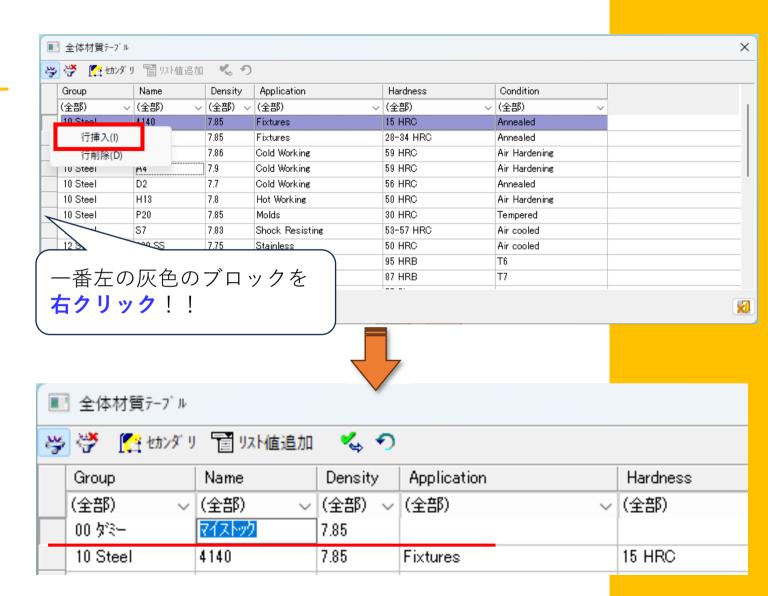
- 材質ライブラリ編集を クリック
- 材質ライブラリにダ ミーの材質を一つ追加 します。

(工具に登録されている材質と切削条件はメーカーで分類している通りになっています。工具シリーズなどによって分類が変わるため、使用する材質をダミーで登録します。)



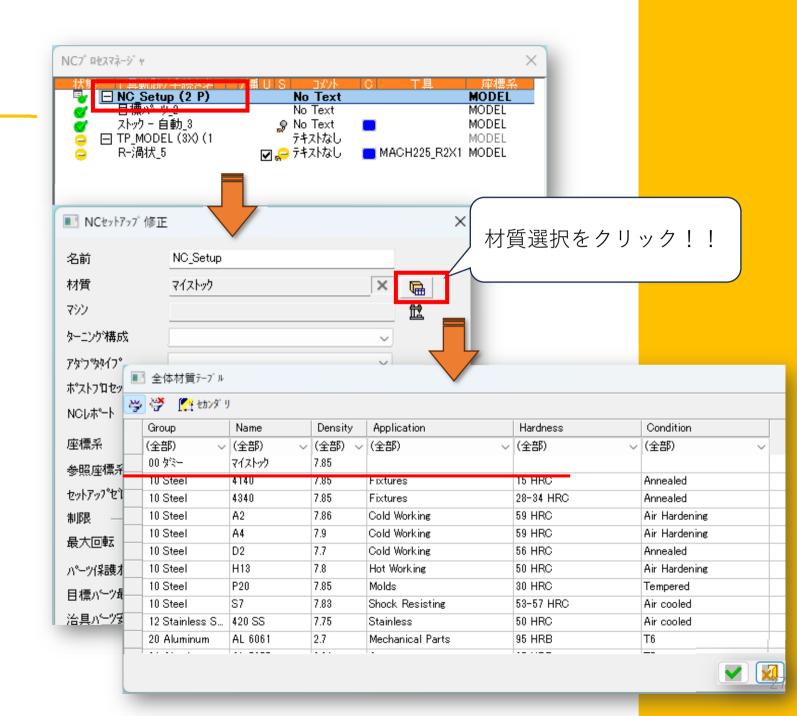


- 材質テーブルで一番左 の灰色のブロックを右 クリックし、「**行挿** 入」を選択
- 空白行に「Group」
 「Name」の項目を入れてOK ボタンで確定します。
 (ダミーなので内容は任意です)

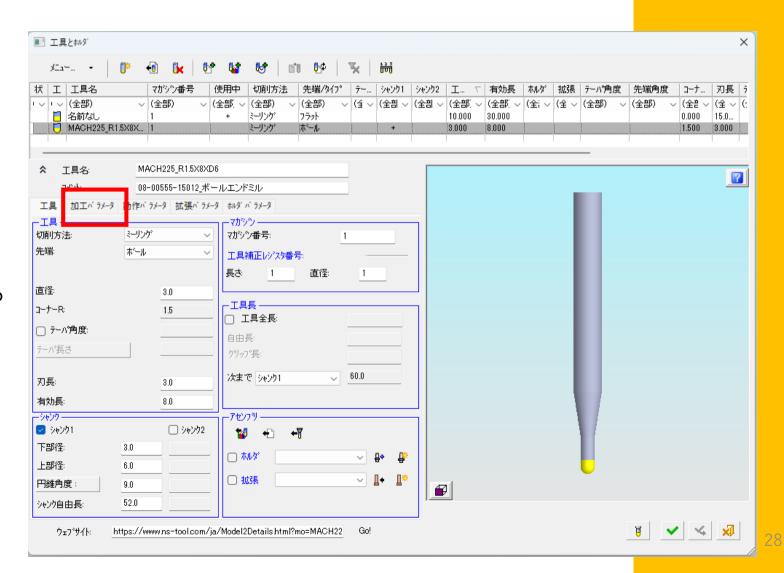


NC_Setupの材質指定

- NC_Setupをダブルク リックして開きます。
- 材質の項目を作成したダミーの「マイストック」 (例) を選択してOK▼ を押します。
- NCセットアップをOK で閉じます。



- 作業しているeltファイルに読み込んだ工具を表示します。
- 手続き設定時に工具の 設定の画面を開きます。
- 「加工パラメータ」の タブを選択します。



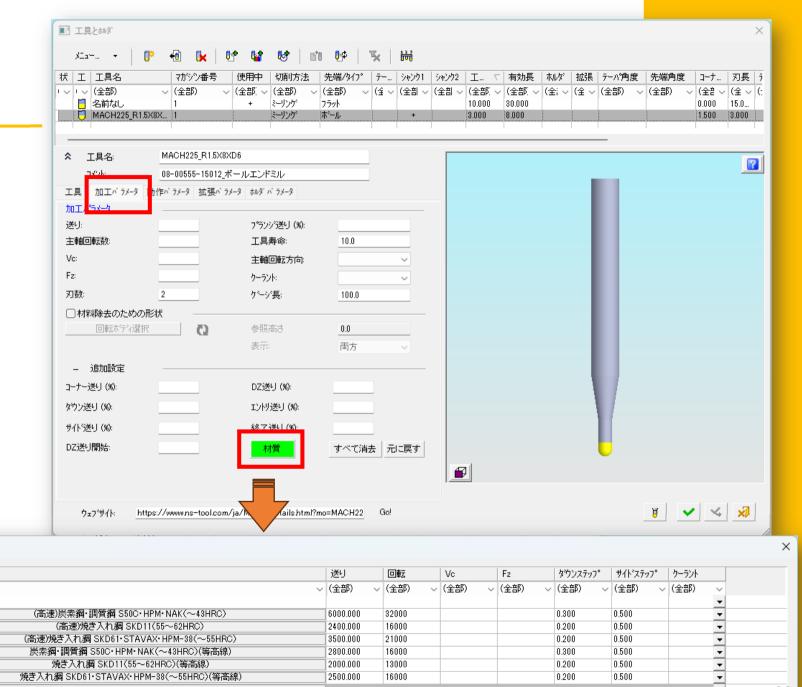
- 「材質」のボタンを 押し、材質ごとの加 工条件を表示させま す。
- 使用したい条件の材質名をクリックし、変更します。

■ 材質関連値

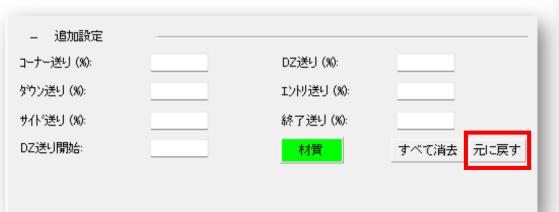
材質名

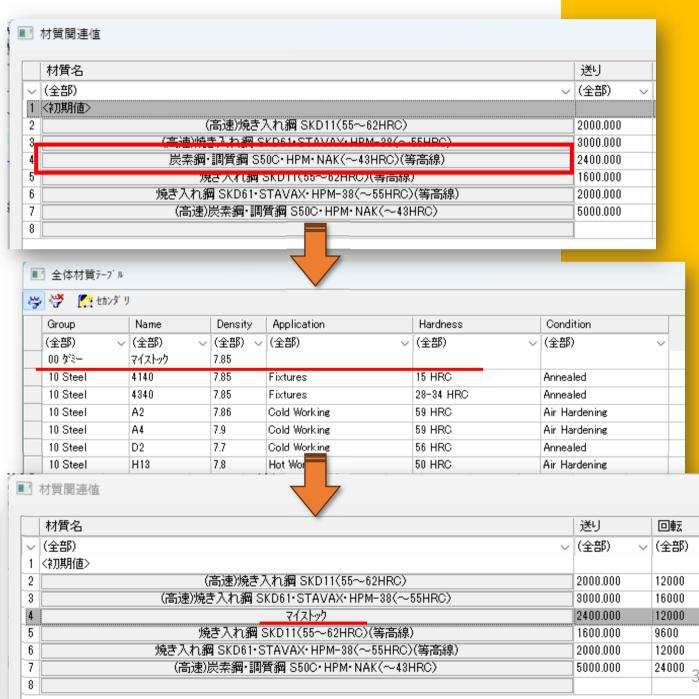
マ (全部)

1 〈初期(値〉



- 使用する条件の材質名をクリック
- リストからNCセットアップで設定した材質(ここでは「マイストック」)を選択
- 材質名が「マイストック」に変更される
- OKで終了
- もし、やり直したい場合は工具を保存 する前に元に戻すボタンを押す

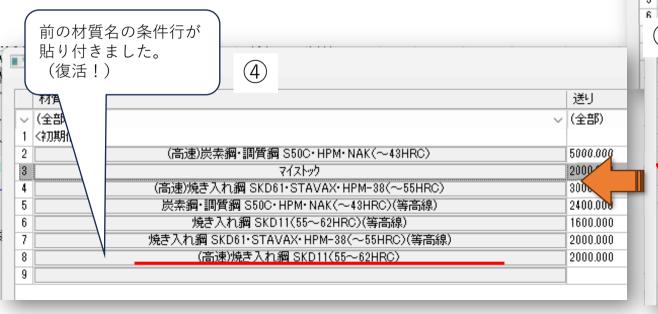


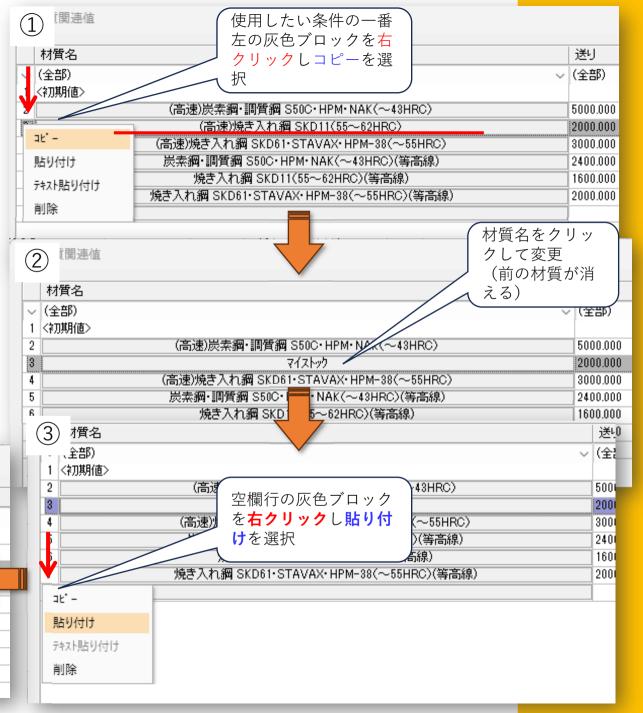


Tips

材質名をダミーに変えると前の材料名が 不明になります。

名前を変える前にコピーし、名前変更後 に貼り付けることで、前の名前を保存で きます。

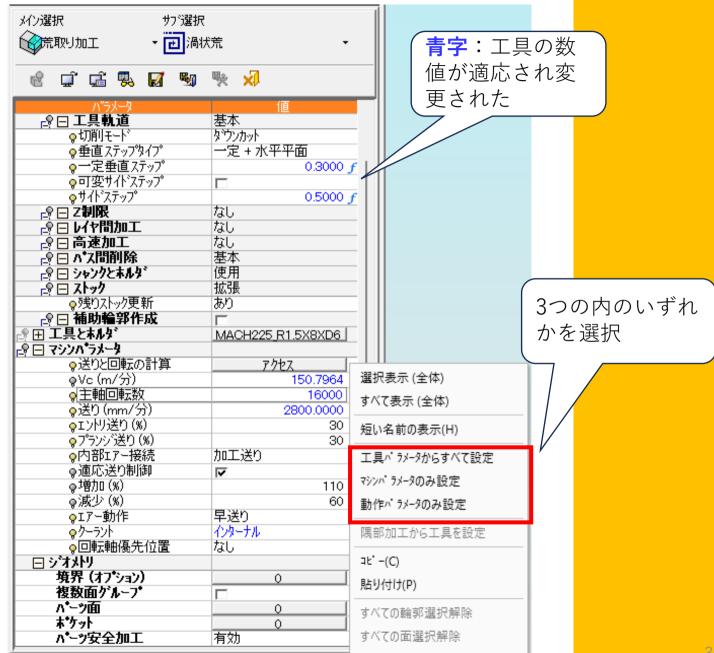




数値の反映

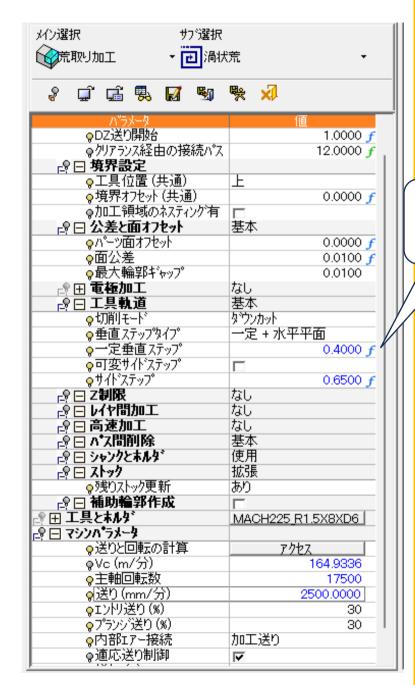
- 手続きの設定パネルで右ク リック
- 工具のパラメータを使用する いずれかを選択
 - 工具パラメータからすべて設定:送り、 回転、ステップ値、クーラントなど工 具のマシンパラメータ、動作パラメー タが読み込まれる
 - マシンパラメータのみ設定:送り、回 転、クーラントなど工具のマシンパラ メータが読み込まれる
 - 動作パラメータのみ設定:サイドス テップ、ダウンステップなど工具の動 作パラメータが読み込まれる
- 工具の材質とセットアップの 材質が一致するため、材質に よる加工条件が呼び出されま

環境設定との関係は#19ページと同



パラメータの修正

- ・読み込まれた数値は、 手動で変更可能。
- 再度工具からの読み 込みを実行すると工 具の材質による数値 に設定されます。



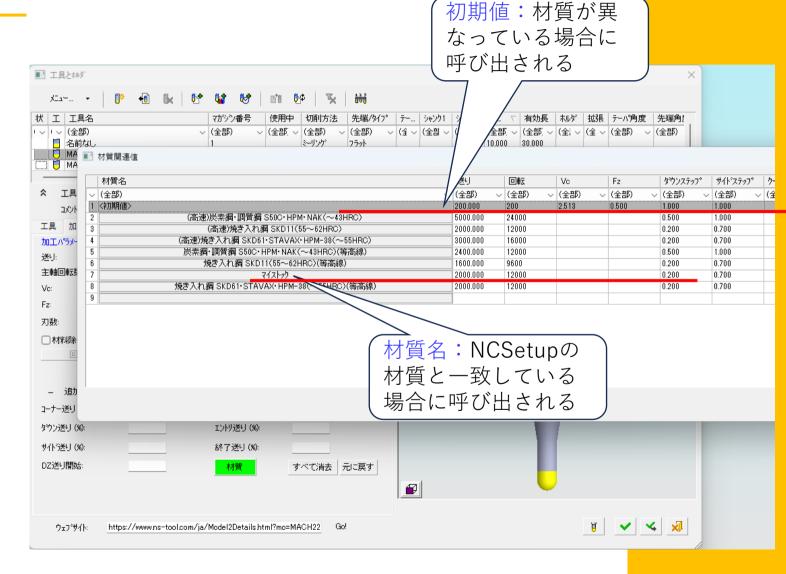
手動で数 値を変更

初期値と材質の条件

初期値と材質が両方設定されている場合は、材質から呼び出される加工条件が優先されます。

NCSetupの材質と工具の材質名が一致する場合は、その条件が呼び出されます。

NCSetupの材質と工具の材質名が異なる場合は、初期値の値が呼び出されます。



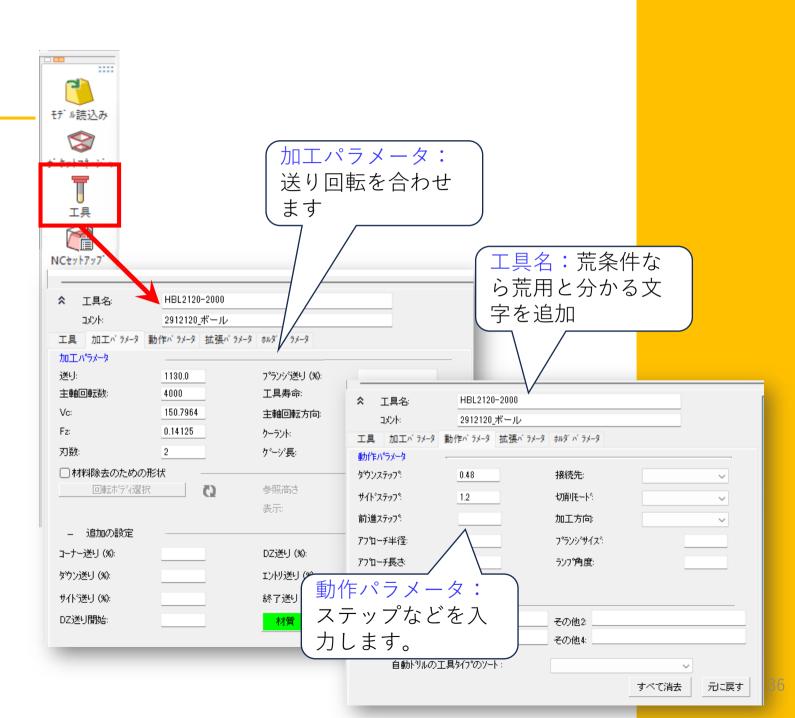
自社のライブラリを作成する

使用頻度の高い工具を 集めたライブラリを作 成します。

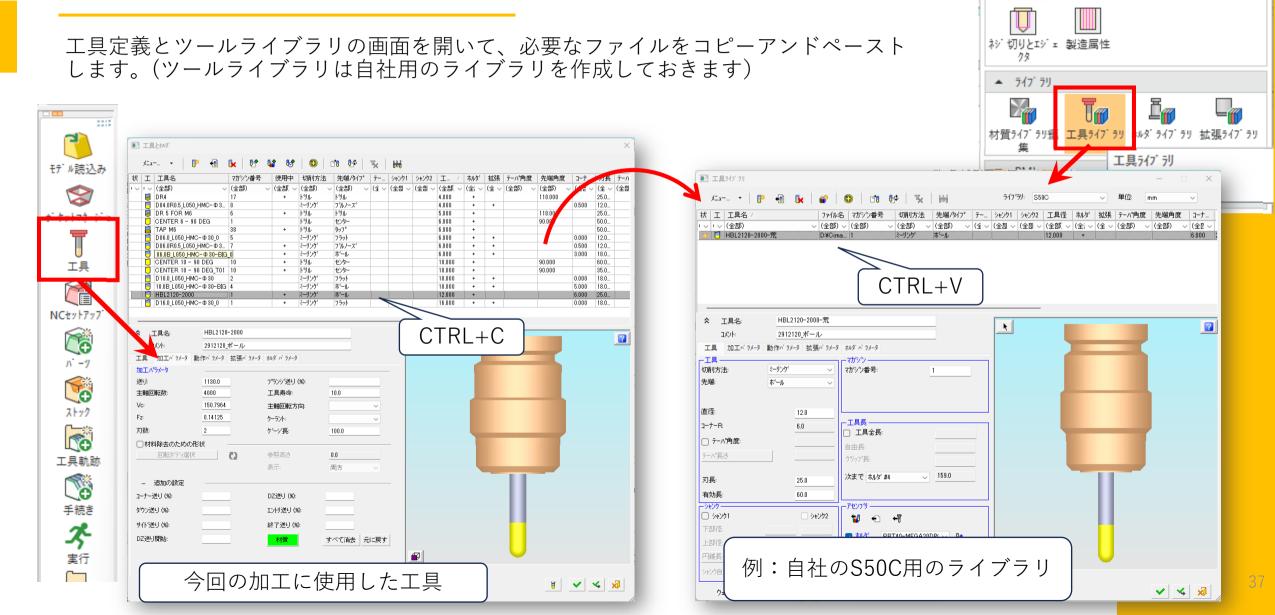
工具メーカーのライブラリからコピーして使用した工具は、切削条件、加工ステップなどが自社用に定義されています。

何度もメーカーのライブラリからコピー して調整するのではなく、使用した工具 を自社の工具ライブラリに登録して使用 すると便利です。

そのためには工具定義の画面で使用した 条件を入力します。



自社用ライブラリにコピーします。



解析 カタログ ウィンドウ

▲ メインツール

環境設定



http://www.saeilo.co.jp/

●本 社

〒344-0065 埼玉県春日部市谷原 3-1-8 3F TEL 048-739-4332

●テクニカルセンター

〒262-0013 千葉県千葉市花見川区犢橋町 320-5 TEL 043-379-2676

■関東営業所

〒344-0065 埼玉県春日部市谷原 3-1-8 3F TEL 048-733-7011

●名古屋営業所

〒457-0038 愛知県名古屋市南区桜本町 21 第 2 アマクサビル 2F TEL 052-819-4500

●大阪営業所

〒564-0052 大阪府吹田市広芝町 5-4 シーアイビル 3F TEL 06-6388-3311

●広島営業所

〒733-0022 広島市西区天満町 13-19 天満町ビル 5F TEL 082-292-1331